若者の力を活かして 地域の活性化/課題解決を 加速する **Tochigi Youth Supporters Network**★

Annual Report 2017



Vision 目指すべき社会

それぞれの強みや違いを活かし、繋がり合い、主体的に未来を創る行動に溢れるいきいきとした社会

Mission 社会的使命

若者の力を活かして地域の課題解決/活性化を加速させる

Concept 視点

【現場】社会を創る実践者や課題と、若者とのリアルな接点

【役割】必要とされるチャレンジの場

【現場】若者のチャレンジを支え合うソーシャルキャピタル

チャレンジの意義

未来・可能性 希望の創造 現状を突破するとント 社会の活性化 新陳代謝 個の力の発揮 社会認識 当事者意識 絆 仲間 人の大切さ 意欲 自信 責任感 自己成長

Staff 2997



代表理事 岩井 俊宗

宇都宮市出身。宇都宮大学国際学部卒業後、ボランティアコーディネーターとして宇都宮市民活動サボートセンター入職。NPO・ボランティア支援、個別SOSに従事。08年若者の成長の機会創出と持続的に取り組む人材を輩出し、若者による社会づくりの促進を目的に当会を設立。その他、NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事、栃木県社会貢献活動推進懇談会委員等。

【担当】実践型インターンシップ事業全般、大学コンソーシアムとちぎオリジナル科目「起業の実際と理論」 他



総務・経理 森 雄史

宇都宮市出身。駒澤大学を卒業後、あてもなく無職の時代を1年半ほど経て、ユースが立ち上げた学校「とちぎユースワークカレッジ」に1年半ほど在籍。そこでのインターンでユースへ赴いたことが最初のユースとの出会いであり、その後10ヶ月ほどインターンを続ける。インターン終了後は簿記3級の資格取得のために勉強し合格。その後ユースの非常勤スタッフとして招き入れられ、事務や庶務を担当。現在に至る。

【担当】iDEA→NEXT、YOUTH TIME、総務・会計全般



プログラムコーディネーター 吉井 渚

富山県出身。北里大学で4年間畜産学を学んだ後、宇都宮大学大学院に転学し農業経済学を修める。在学中に農村での若者育成・地域づくりに興味を持ち、各地の農村に足を運びながら現場を通して地域づくりを学ぶ。今後は、被災地という課題先進地域で学んだことを専門に活かしたいと考え、ユースでの業務に取り組んでいる。学生時代は、よさこいの踊り子として活躍。

【担当】復興支援プロジェクト、宇都宮市創業支援事業、 U I Jターン事業



プログラムコーディネーター 菊池 公江

静岡県出身。結婚を機に栃木へ。旅行会社に勤務し各地を駆け巡った後、ユース主催のアイデアコンテスト「iDEA→NEXT」に応募。ファイナリストに選出される。2児の母として日々子育てに奮闘しつつ、ユースでもお母さん的存在として活躍。得意技は掃除と3秒で眠ること。

【担当】YOUTH TIME、iDEA→NEXT OB会、総務全般



理事・事務局長 古河 大輔

小山市出身。大学卒業後、名古屋でインテリアコーディネーターとして4年間勤務。その後青年海外協力隊(村落開発普及員)として南米ボリビアに赴任し、収入向上プロジェクトや植林などの環境保全活動に従事。誰もが地域のプロデューサーとなる多様性溢れる地域社会を目指し、現職。その他、NPOカゼトツチ代表等

【担当】iDEA→NEXT、ローカルベンチャー、復興支援プロジェクト、UIJターン事業 他



プログラムコーディネーター 渡邊 貴也

宇都宮市出身。ユースでのインターンを経験し、その後、那須烏山市にて地域づくり団体の支援や新商品開発の事業に関わる。それと並行し、子どもの政治意識向上を目指すプロジェクトの代表として活躍。現在は、ユースで非常勤スタッフを務めつつ、都市農村交流、空き家利活用、政治意識向上などの複数プロジェクトの推進を行っている。

【担当】実践型インターンシップ事業全般、 iDEA→NEXT OB会、ローカルベンチャー



プログラムコーディネーター 石川 慎太郎

鹿沼市出身。大学でコンピュータ工学を専攻。IT 企業で企画開発および営業企画・マーケティングを担当し、新商品開発や大手企業向けIT・セキュリティ提案を多数行う。現在は地元栃木県にて、地域の企業やNPO のIT化や情報発信の支援を行っている。NPO 法人サバイバルネット・ライフ理事。20カ国を旅したジェットコースターマニア。

【担当】実践型インターンシップ事業全般、メディア関連



実践型インターンシップ GENBA CHALLENGE

「成長と挑戦」×「価値創造」

まちづくりや社会課題に取り組む組織が抱える"課題の解決"や"次の一手を創る"現場をフィールドにしたインターンシップ。 成長意欲のある若者には、"より本質的な力"を、受入組織には、"社内の変化と新たな価値"を生み出している。









実 施 状 況

学生が創る地域密着&参加型のラジ 才新番組を実装せよ

受入組織 / ミヤラジ(株式会社宇都宮コミュニティ メディア)

期間 / 平成29年11月~平成30年3月

内容 / ラジオ番組の企画運営、視聴者獲得のための 広報、SNSの活用企画、運営、ラジオ番組企画運営 する学生グループの創設

参加者 / 栗原万由香(宇都宮大学) 佐々木千暁(宇都宮大学)

地域密着型ストックビジネス創出の ための空き家管理ニーズ調査プログ ラム

受入組織 / 積和建設北関東株式会社 期間 / 平成29年11月~平成30年3月

内容 / 社内業務経験、調査目的の策定、調査項目案 の作成、実施スケジュールの作成、空き家調査及び 持ち家についての意向アンケート調査及び集計、社 内報告資料の制作と発表

参加者 / 日向野猶仁(鹿沼高校) 望月崇史(宇都宮大学農学部)

在宅OK・働き方改革を実践!IT企業 の社長の右腕となり、SNSを使った PR戦略を立案・実施せよ

受入組織 / 一般社団法人情報の森 / 株式会社スキッ

期間 /平成29年11月~平成30年3月

内容 /業務理解を目的とした一般業務体験、PR用SNS の立ち上げ、セミナー募集事項の作成・発信、参加者 を対象としたアンケート調査等

参加者 / 大田晃平 (宇都宮大学工学部)

本を使った寄付サービス「本deチャ レンジ」及びクリックでNPOを応援 できる寄付システム「gooddo」の 支援拡大プロジェクト

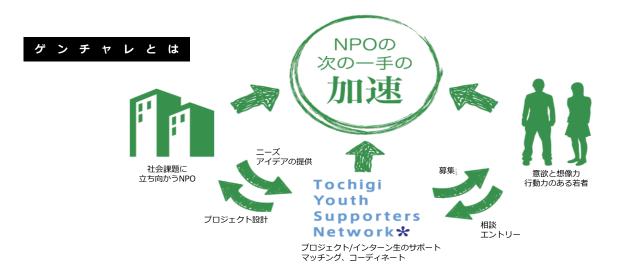
受入組織/とちぎユースサポーターズネットワーク 期間 / 平成29年6月~12月 内容 /寄付システムの支援拡大を図る 参加者 / 大野智成 (宇都宮大学教育学部)

「とちぎ手仕事プロジェクト FukuFuku」商品の広報・販売促進

受入組織 / とちぎユースサポーターズネットワーク 期間 / 平成29年7月~8月

内容 「FukuFuku」プロジェクトの広報・プログラム 運営補助

参加者 / 菅原笑 (宇都宮大学国際学部)



受入団体の変化させたいニーズとアイデアに基づき、当会がプロジェクト案を設計。受入団体と協議した後、そのプロジェクトにインターン 生を募集し、マッチング。インターン生の受入後、受入団体に担当者(スーパーバイザー)を配置していただき、インターン生は担当者の右腕 となり動いていく。当会もプロジェクトやインターン生のサポートを行うために伴走する。

	一般的なインターンシップ	実践型インターンシップ 『GENBA CHALLENGE』
分類	見学型・研修型	長期実践型
期間	2週間程度 (90時間)	1か月から数ヶ月(150~300時間以上)
参加期間	休暇中のみ	休暇中 : 週3~5回 学期中 : 週2回など
社内での 位置づけ	研修生	期間限定の社員
学生への 期待	貪欲な学習意欲 学生ならではの意見	プロジェクトの成功・特定の役割遂行 課題発見・解決
受入側の 目的	採用活動の一環 社会貢献	事業・組織の発展
窓口	人事部	経営者・事業責任者
人材 育成目標	職業意識の醸成 仕事への理解	起業家的な思考・行動特性の獲得 課題発見・解決能力の獲得
その他	Campus web等のwebで募集 企業情報を見てエントリー	プログラムサイト「SOZO」で募集 当会が受入プログラムを設計

加 Ø

企画から運営まで取り組んだ放送を、聴いてくれた 方に「面白い」と言ってもらえた時が最高に嬉し かったです!



佐々木千暁さん(宇都宮大学3年)



インターン生には、「学生が地域に目を向けるきっか けとなる番組」の企画から運営までをお願いし、そこ で生まれた番組が「つぶつぶ大学放送部」です。番 組はインターン終了後も継続し、ミヤラジには続々と 「学生パーソナリティ」が誕生しています。

稲葉克明さん(ミヤラジ 代表取締役局長)

学生が創る地域密着&参加型のラジオ新番組の実装 せよ/ミヤラジ(株式会社宇都宮コミュニティメディア)

平成30年4月から学生によるラジオ番組を本放送でき るように、インターン生による番組の企画と試験的放送 の実施と、学生によるラジオ番組企画チーム等継続し て実施できる体制づくり行った。またSNSとの連動を通 じて、より参加型、よりコミュニケーションが取れる番組 運営方法にも挑んだ。「つぶつぶ大学放送部」が生まれ、 自走した。

空き家を調査していくと相続などの様々な課題 が根底にありましたが現状打破のための一手に 携われました。この貴重な一手に力を貸してくだ さった積和建設さんに感謝の気持ちでいっぱい



日向野猶仁さん(鹿沼高校2年)

予想外の高校生の応募も有り(しかも超優秀!)、マ ンネリ化した社員にインパクトを与える事が出来まし た。営業社員には出来ない、学生ならではのアプ ローチも有り、私自身も刺激になりました。一番大き かったのは、若手社員がインターン生を指導する事 により成長出来た事です。社長も喜んでおり、導入し (積和建設 総務課) て良かったです。

地域密着型ストックビジネス創出のための空き家管理 ニーズ調査プログラム/積和建設北関東株式会社

事業所のある宇都宮市平松本町エリアに限定して、空き 家、また空き家を所有するオーナーの抱える課題を社員 とともに調査し、住宅づくりに高い技術と実績を持つ会社 の資源を組み合わせていく新たな事業創出の種(ニーズ) を見つけていきます。調査内容、方法を整え、調査・関係 者へのヒアリング実践をニーズとアイデアを社長以下、社 員への報告を実施しました。

若者による社会をよくするスタートアッププログラム iDEA→NEXT

とちぎの新しい物語をつむぐ。

「地域の困りごとを何とかしたい!」「もっと地域を盛り上げたい!」という未来に繋がるアイデアを持った若者を育むプログラムです。アイデアを持った若者と、課題の解決を目指す地域の組織・企業との輪を広げ、ワクワクする新たな地域を生み出します。





実 施 状 況

人と地域を元気にする。こんな風だったら面白いをカタチにする。

若者が未来に躍動するプログラム「iDEA→NEXT(アイデアネクスト)」。

このファイナルプレゼンテーションでは、6ヶ月間にわたる現場訪問や研修・合宿・プロジェクトの仮説検証を経た彼らが、その挑戦過程や成果をオーディエンスである皆さまに向けて発信しました。まず初めに、アイデアネクストの歴代卒業生たちが登場。それぞれのその後の活動を発表しました。

今年からは、アイデアの実現性を高めるため、アイデアプランの構築に加えて仮説を立て小さく実践する過程を重視しています。その分、壁にたくさんぶち当たり、発表ではその試行錯誤の過程も伝えていました。

またプレゼンテーション後は、このスタートアッププログラムにご協賛くださった協賛 企業を紹介させていただくとともに、一部企業には感謝状を授与させていただきました。 本当に有難うございました。

■とちぎんグッドアイデア賞贈呈

・「米麹を使った商品開発」 小泉泰英さん 株式会社アグクル代表/宇都宮大学

■活動支援金贈呈

- ・「障がい者による新聞ちぎり絵」 舘野智子さん 新聞ちぎり絵サークル代表
- ・「循環する直売所まんまとちぎ」 大河原千晶さん NPO法人ポン・デ代表
- ・「高校生コミュニティYourDream」 松浦真慈さん 黒磯高校 小林龍威さん 那須柘陽高校
- ・「学生プレゼンコンテスト」 高橋利公さん 宇都宮北高校
- ・「米麹を使った商品開発」 小泉泰英さん 株式会社アグクル代表/宇都宮大学















アイデア募集期間・関連プログラム

ブラッシュアップ期間

最終審査

活動開始

iDEA→NEXTギャザリング

2月11日、12日の二日間をかけて、当会主催事業iDEA→NEXTのブラッシュアップ合宿を開催。

各エントリー者のプレゼンテーションの後、当会岩井と理事である清嶋磨利夫様による企画書づくり基礎講義ののち、メンターによるブラッシュアップメンタリングを行いました。今年度はソーシャルビジネス実践者の講義やアイデアプランに関する関係者ヒアリングを通過しているエントリー者たち。

例年より踏み込んだ議論が交わされました。2日目のアイデアプランの発表審査会に向けて作りこみに熱が入ります。

合宿2日目もソーシャルプロジェクトや起業支援に精通した豪華メンター陣を迎え、それぞれのプロジェクトの実現性を高めるためのブラッシュアップが行われました。後半は暫定プランの発表審査会を行い、オリエンテーションが実施された1月中旬から向き合ってきたアイデアプランにかける想いを審査員たちにぶつけました。

選考を通過した組は今年度のプログラム特徴である"プロジェクト発進ステージ"に進み、アイデアプランの実践を前提に今後の活動の計画立案と実行を行っていきます。





オーディエンスの声

- ●挑戦したが失敗した、がビジネスを強くする。 挑戦しない、からは何も生まれない。ファイ ナリストの皆さんから、改めてそれを学んだ 気がする。彼ら彼女たちのプレゼンは、未熟 だが不思議な熱量に溢れ、とても魅力的だっ た。そして明るい日本の未来を感じた。「挑戦が循環する生態系を創る」、ぜひこの企画 を継続してほしい! (経営実務家、中小企業診断士)
- ●最近少しずつ読み進めているドラッカーの 「マネジメント 基本と原則」に、「目標は、実行に移さなければ目標ではない。」という 言葉があります。そして、一ヶ月まえの iDEA→NEXTの最終プレゼンで見たものは、 正に 5 組の実行の過程でした。「私にはアイ デアがない」のではなく、「行動していない」、 そんな若者は私を含め多いのかもしれません。来年もあるなら、「とにかく見に行け!」(20代大学牛)

協賛をいただきました皆様(敬称略)

株式会社栃木銀行 大川総合法律事務所 株式会社キッズコーポレーション 株式会社クレスコム 株式会社ジード 株式会社ル・リオン 税理士法人浜村会計 有限会社国分寺産業 一般社団法人えんがお 医療法人創生会真岡西部クリニック 株式会社サムライトサムシング 合同会社クルー 地域編集室簑田里香事務所 はやき風株式会社 有限会社コーチ精機 エルライズ株式会社 株式会社ジェネッ クス 菜の花どうぶつ病院 他、87名の個人の方々

アイデアブラッシュアップ

①アイデアブラッシュアップ

(ソーシャルビジネスセミナー、フィールドワーク、ギャザリング合宿、メンタリ ング)

1月~3月の間、エントリー者自身のアイデアを磨いていく研修機会を実施。特に、一泊二日の合宿では、立ち向かう課題の調査結果を携えて、先輩メンターから指導を受けながら、アイデアを練り上げました。専門性の高いメンターから指導を受けながら、アイデアにとことん向き合い、ビジョンやミッション、ターゲット、アクションなど、実践的仮説検証に向けた計画を立てました。

②実践的仮説検証

合宿後、1次審査を経て選ばれたファイナリストは、適宜相談できる指導者がサポートしながら、お店のプレオープンやイベントの開催、商品の試作品作りなど、アイデアを小さく実践して確認し、実用性の高いものへしていきました。またプレゼン本番へ向けての準備や練習も行われました。





メンターの皆様

- ・伊川夢起(合同会社CREW 代表)
- ・石井大一郎(宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科 准教授)
- ・大石剛史(国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 准教授)
- ・大樹直人(有限会社ロケットウェブ 代表取締役)
- ・清嶋磨利夫(株式会社キップルネットワーク代表取締役、当会理事)
- ・近藤千園 (C.Kコンサルティング&コーチング 代表)
- ・篠原永知(宇都宮市役所建設部 LRT整備室 共同広報室 主査)
- ・野崎千晶(株式会社ワークエントリー栃木事業部宇都宮営業所所長、当会理事)
- ・野原典彦(ナチュラルフード 森の扉)
- ・林書緯(株式会社グリーンデイズ 代表取締役)
- ·松本昌宏(日光市社会福祉協議会)

コメンテーターの皆様

- ・小久保行雄 氏 有限会社ドンカメ 代表取締役
- ・塚本竜也 氏 特定非営利活動法人トチギ環境未来基地 理事長
- ・野崎千晶 氏 株式会社ワークエントリー宇都宮営業所所長 (キャリアコンサルタント、ワークライフバランスコンサルタント)
- ・広瀬 聡 氏 株式会社栃木銀行法人営業部地域創生室 主任調査役

社会をよくするシゴトのつくりかた

ソーシャルビジネスについて学び、アクションを起こ す短期プログラム!

自身が解決したい社会課題への想いやアイデアを持つ方を対象として、先駆者を講師とした事例紹介や企画の作り方のほか、自身のアイデアをブラッシュアップできる時間を設ける等、ワークショップ形式を取り入れた主体的にアイデアをカタチにする短期プログラム。全7回実施し、自身が大事にしている価値観や、なんとかしたい社会課題を明確化し、解決する手段を考えました。終了後も同窓会を開催する等、ネットワークも育まれた。

(※宇都宮市特定創業支援事業の一環)



起業・創業ネットワーク事業

大学コンソーシアムとちぎオリジナル科目「起業の実際と理論」

栃木の魅力的な経営者達から学ぶ起業家精神養成講座

将来の地域経済を牽引するアントレプレナーシップ(起業家精神)あふれる人材を育てることを目的に、大学生などの若年者を対象とする講座を行っている。授業の終盤には、受講生がビジネスプランの発表を行っているが、授業終了後には、実際に会社を興した学生、起業研究会のサークルを立ち上げた学生、実践型インターンシップやiDEA→NEXTへと参加する学生など、具体的なアクションに展開させている受講生も多数生まれている。



実施プログラム

日時 / 平成29年10月から平成30年3月までの毎週月曜 16:10~17:40 (全15講)

会場 / 宇都宮大学峰キャンパス

受講者 / 29名(学生24名、社会人5名)

カリキュラム /

- ・オープニングスピーチ パン・アキモトの挑戦の奇跡-那須の街のパン屋からNASAへ-: 秋元 義彦 氏 (株式会社パン・アキモト 代表取締役)
- ・ビジネス基礎1 ターゲット設定、マーケティング

ビジネスアイデアづくり1:水沼 啓幸 氏(株式会社サクシード 代表取締役)

- ・ビジネス基礎 2 ビジネスモデル、財務諸表、資金調達: 広瀬 聡 氏 (株式会社栃木銀行 法人営業部地域 創牛室 主任調査役)
- ・ビジネスモデル研究1 全国へ仕掛ける起業家

アイデアブラッシュアップ:西村 琢 氏 (ソウ・エクスペリエンス株式会社 代表取締役社長)

・ビジネスモデル研究 2 海外へ仕掛ける起業家: 鈴木規文氏(株式会社ゼロワンブースター代表取締役)

地域担い手定着支援

とちぎ地域づくり担い手育成事業

新たな地域づくりの担い手を掘り起こし、育む。

平成20年以降、人口の減少傾向が続き、特に若者世代の人口流出が目立つなど、今後の地域社会を担う人材の不足が懸念されている一方、大学に新たな学部が創設されるなど地域づくりへの関心が高まりつつある。しかしながら、実際に地域づくり活動を実践する人は限られ、興味・関心があっても容易に一歩を踏み出す環境が整っていない現状に対して、次世代を担う若者の地域づくり人材の掘り起こし、興味・関心・アイデアの醸成、地域づくりの担い手の育成を目的に、座学研修と実践者の現場で3日間ともに汗を流すプログラムを行った。



とちぎ週末インターンシップ事業 はじまりのローカル コンパス

都市部に住みながら、栃木県の地域プロジェクトに行き来する

栃木県へのUIJターンを検討している(又は興味・関心がある)東京圏在住の若者と、実際に栃木県にUIJターンし活躍する地域リーダーや地域活性化プロジェクトを継続的・有機的に結びつけることで「UIJターンの促進」・「これからのとちぎを支える若者の育成」・「外部人材が継続して地域に関わることによる地域活性化」を目指すプロジェクト。移住ほどハードルが高くなく、観光よりも地域に関われる機会を創出することで、都市部に住みながら栃木県の地域づくりに関わってくれるファン(関係人口)を増やすツアーを開催。

※ 栃木県地域振興課受託事業





【プロジェクトwebサイト】 上記のQRコードを確認ください



とちぎUターン対策強化事業 JIMOTO TOCHIGI

東京圏に住む35歳以下のとちぎ出身者のためのコミュニティ

栃木県へのUIJターンを検討している(又は興味・関心がある)東京圏在住の若者と、実際に栃木県にUIJターンし活躍する地域リーダーや地域活性化プロジェクトを継続的・有機的に結びつけることで「UIJターンの促進」・「これからのとちぎを支える若者の育成」・「外部人材が継続して地域に関わることによる地域活性化」を目指すプロジェクト。移住ほどハードルが高くなく、観光よりもより地域に関われる機会を創出することで、都市部に住みながら栃木県の地域づくりに関わってくれるファン(関係人口)を増やすツアーを開催。

※ 栃木県地域振興課受託事業





【プロジェクトwebサイト】 上記のQRコードを確認ください



ローカルベンチャー育成/なすから週末インターンシップ

平成21年に制度が始まり、全国の様々な自治体で導入される地域おこし協力隊。成功事例とともに地域との関係づくりや退任後を視野に入れた生業づくりで悩みを抱える事例も報告されている。2016年度より同制度を導入した那須烏山市において、着任者が地域課題を分析し、課題解決のためのビジネスモデルを展開しながら地域に定着するための技能やネットワークを構築するための研修を実施した。

その他、那須烏山市に地域外から関わる関係人口創出事業の一環として、地域おこし活動に取り組む実践者との出会いをつくるフィールドワークイベントを実施した。地域おこし協力隊の3名が受入の調整を行うほか、広報活動も担うなど、運営をともに担った。



とちぎ手仕事プロジェクトFukuFuku

支援(震災復興)の先に、私たちが目指すこと…

本プロジェクトは、復興支援への若者の参画機会の創出を図りながら、福島県の被災者における生きがいづくりやコミュニティづくりを目的として、2012年立ち上げ以来、今年で6年目を迎えた。支援という「与える」関係を越えて、震災を通して得た気づきや学びから、共に新しい価値を創り出す関係を目指し、地域のひとや風土を活かした顔の見えるモノづくりを行い、販売している。オンライン購入サイトの整備やイベントへの出店も行っている。



宇都宮ブランド推進協議会委託事業

愉快ライター/宇都宮市民シティプロモーション支援

宇都宮のブランド戦略指針に掲げる「市民の誇りの醸成」と「市外からの憧れ」を育む市民発の活動を補助金と伴走支援により支える「宇都宮市民シティプロモーション支援事業」。当会は、本事業における事業事務局として選考会、団体活動支援等を行った。今年度は学生団体1件、事業者4件を採択した。

愉快ライターは、宇都宮の魅力を発信したい市民を対象に、ライターとしての研修と、FB「宇のコト」の投稿を行うものです。こちらも事務局として市民ライターの育成と発信のサポートを行った。



その他の事業

会員限定交流会 YOUTH TIME

事業加速と課題解決に向け次の一手を生み出す時間

会員限定交流会として2014度から開催。当会会員の企業の方や地域でアクションを起こしたい若者まで様々な方が集っている。隔月開催し、今年度の主なコンテンツは、ユースと事務局による課題解決ワークショップ・会員によるミニセミナー・ゲストを招いた活動報告とトークイベント、交流タイム。



"学校の外にも自分が活躍できる場所がある"。県内大学、NPOが連携し、大学生等の社会貢献活動への一歩を踏み出すきっかけを提供する。「とちぎ未来留学」プログラムではそれぞれ地域課題解決に挑む活動団体に1日活動体験する機会とその経験を次につなげていくための合同振り返りを行った。





古本で若者のチャレンジを支える寄付のしくみ ホン de チャレンジ

読み終えた本が寄付になる

ご自宅や職場で不要になった書籍やCD、DVDを株式会社バリューブック スが買い取り、その相当額が当会に寄付されるファンドレイジングプログラ ム。いただいた寄付金については全額「若者による社会をよくするスタート アッププログラムiDEA→NEXT(アイデアネクスト)」の運営資金・受賞者 への活動支援金などに充てさせていただいている。例年栃木県内だけでなく、 日本全国から多くの方のご支援をいただいている。

※株式会社バリューブックス協働事業



次の社会を創る若者のチャレンジを育む

2 0 1 7 年 度 寄 付 に つ い て



本を寄付してくださった方

寄付冊数 3,010冊



105,643円



古本回収BOX設置団体

- 宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ
- 栃木県青年会館コンセーレ
- 宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンター 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク
- 宇都宮ベンチャーズ
- 栃木市社会福祉協議会「岩舟支所」【NEW!!】

gooddo

インターネットを介し、支援者による金銭の自己負担なしでgooddoサ イト上の「応援する」ボタンのクリック、もしくは同サイトを経由して 楽天市場にてインターネット通販を行うことなどでNPO・NGOに支援金 が送られるファンドレイジングプログラム。

手軽に自己負担なしでクリックや買い物だけで寄付が行える仕組みとし て好評をいただいていたが、2018年1月28日を持ってクリックサービス は終了となった。その他の応援プログラムは継続中。

2017年度寄付について (2017.04~2018.03)

19,610円

※差引手数料を除く







Data 数字でみるユースの活動

プログラムデータ

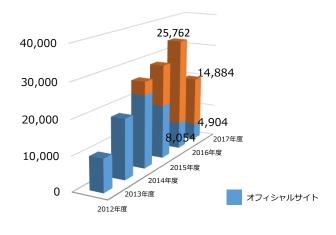
総プロジェクト数:46

内訳	GENBA CHALLENGE	iDEA→NEXT
2012	4	1
2013	2	3
2014	7	3
2015	6	6
2016	2	4
2017	5	3
合計	26	20

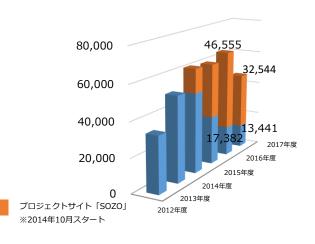


ウェブサイト

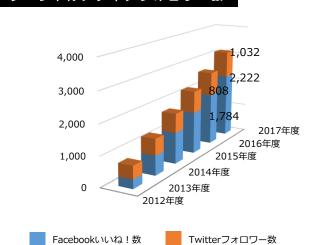
ユニークユーザー数の推移



ページビュー数の推移



ソーシャルメディアフォロワー数



寅 数 200 150 100 2017年度 2016年度 50 2015年度 2014年度 2013年度 2012年度 ■運営会員 ■ 賛助会員(個人) ■ 賛助会員(団体) チャレンジ会員 ※チャレンジ会員は2014年4月スタート

Media メディア掲載

提出日	媒体名	プロジェクト名	記事タイトル
2017年4月2日	下野新聞 朝刊		「一冊啓上!」執筆者紹介
4月12日	下野新聞 朝刊	iDEA-NEXT	パラパラ漫画で魅力発信
5月26日	RADIO BERRY 愉快なラジオ	宇都宮市民シティプロモーション	宇都宮市民シティプロモーション募集
7月12日	日本経済新聞 朝刊	若者の人材育成	栃木でリーダー育成
7月30日	下野新聞 朝刊		「一冊啓上!」睡眠が人生を充実させる
8月17日	下野新聞 朝刊	宇都宮市民シティプロモーション	宇都宮市の魅力発信へ支援5団体を決定
8月30日	日刊工業新聞 朝刊	栃木県UIJターン	栃木への週末移住促進業
9月10日	下野新聞 朝刊		「一冊啓上!」教科書の新たな発見
11月17日	日本経済新聞	栃木県UIJターン	栃木への移住 官民で誘う
11月19日	産経新聞 朝刊		栃木にこの人 若者の起業支援で地域活性
11月25日	下野新聞 朝刊	栃木県地域づくり人材育成	地域づくり講座参加者を募集
12月3日	下野新聞 朝刊		「一冊啓上!」先人に倣う学びの必要性
2018年2月26日	下野新聞 朝刊	栃木県UIJターン	本県出身者 栃木愛語る都内フェスで知事も参加
2月2日	下野新聞 朝刊	iDEA-NEXT	iDEA-NEXT
3月4日	下野新聞 朝刊		「一冊啓上!」未来へ進む言葉の力

メ デ ィ ア 掲 載 数 の 推 移

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
22件	40 #	27件	15件

Finance 財務報告

活動計算書

2017年4月1日から2018年3月31日まで (単位:円)

	当年度	前年度	
【経常収益】			
正会員受取会費	240,000	165,000	75,000
賛助会員受取会費	260,000	235,000	25,000
受取入会金	0	0	0
受取寄付金	442,388	608,469	-166,081
受取助成金	0	3,000,000	-3,000,000
受取補助金	2,219,968	1,010,455	1,209,513
協賛金収益	936,000	510,000	426,000
自主事業収益	10,417,448	5,678,572	4,738,876
受託事業収益	17,003,024	13,725,000	3,278,024
参加費収益	719,800	369,700	350,100
受取利息	44	315	-271
雑収益	60,000	50,770	9,230
経常収益 計	32,298,672	25,353,281	6,945,391
【経常費用】			
事業費			
人件費 計	15,546,167	16,173,258	-627,091
その他経費 計	12,631,184	10,215,695	2,415,489
事業費 計	28,177,351	26,388,953	1,788,398
管理費			
人件費 計	863,279	622,863	240,416
その他経費 計	1,004,247	1,268,894	-264,647
管理費 計	1,867,526	1,891,757	-24,231
経常費用 計	30,044,877	28,280,710	1,764,167
当期経常増減額	2,253,795	-2,927,429	5,181,224
過年度損益修正損	0	0	0
当期正味財産増減額	2,253,795	-2,927,429	5,181,224
前期繰越正味財産額	644,254	3,571,683	
次期繰越正味財産額	2,898,049	644,254	
	当年度	前年度	差額

About us 団体概要

常勤5名、非常勤2名 スタッフ体制 運営会員(個人)63名、賛助会員(個人)38名、賛助会員(団体/企業)20社 会員数 チャレンジ会員56名(2018/3/31現在)

代表理事 岩井 俊宗 (認定NPO法人宇都宮まちづくり市民工房 理事) 理事/役員 副代表理事 塚本 竜也 (NPO法人トチギ環境未来基地 理事長) 大塚 雅斗 (株式会社キッズコーポレーション 代表取締役) (株式会社キップルネットワーク 代表取締役) 理事 理事 清嶋 磨利夫

(有限会社ドンカメ 代表取締役) (NPO法人チャレンジド・コミュニティ 代表理事) 事 小久保 行雄

理事 金井 光一 理事 中野 謙作 **(一般社団法人栃木県若年者支援機構 理事長)**

(NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク 事務局長) (宇都宮市まちづくりセンター「まちぴあ」 センター長) 事 理 古河 大輔 安藤 正知

(1) 特定非営利活動に係る事業 サービス(事業)

1.社会事業を行う若者の人材育成事業

2.ソーシャルプロジェクト支援事業

3.ネットワーク・コミュニティ形成事業

4.行政、企業、NPO、組織形態を越える地域・若者サポートネットワークの構築事業 5.挑戦する若者を支える奨学金事業

6.社会事業に関する相談/アドバイス事業

7.調査研究事業

8.情報発信·出版事業

(2) その他の事業

1.物品販売事業

2.出版事業

3.施設管理業務事業

地域の活性化/課題解決を



所在地 栃木県宇都宮市宮園町8-2 松島ビル2F

Tel/Fax 028-612-3341

E-mail ysn_office@tochigi-ysn.net

設立 任意団体 2008年7月1日 法人化 2010年4月1日